

1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」 表彰式・発表会

プログラム

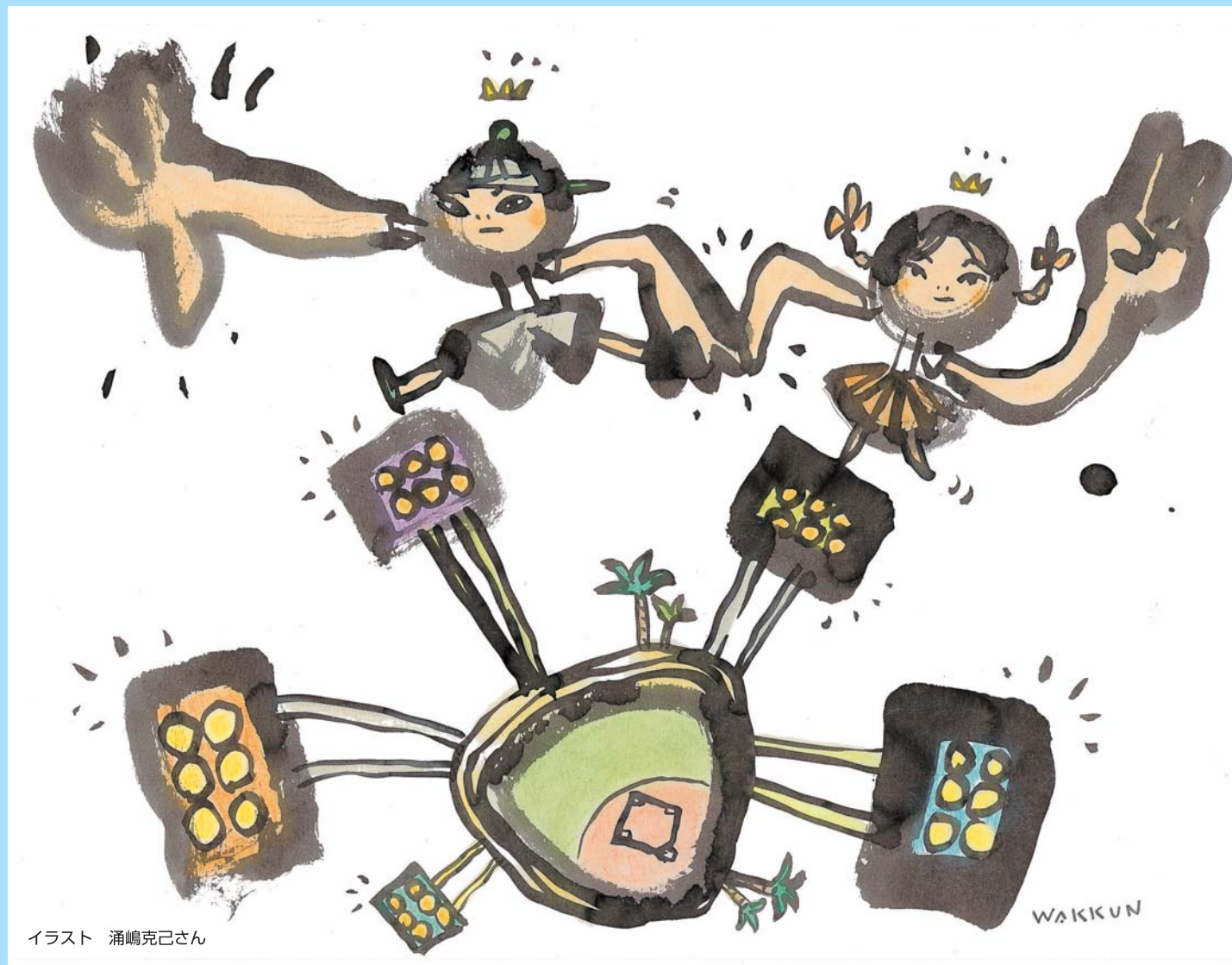


イラスト 涌嶋克己さん

◎ 奨励賞

〈小学校の部〉

ながしやう

長野県：長野市立中条小学校

「地元の公園から地滑り災害を知る」

豪雨による地滑り災害を受け整備された公園について、地質などを調査。成果を日本地すべり学会の地区シンポジウムで報告した。

静岡県：藤枝市立藤枝中央小学校PTA

「東海地震に備え、防災学習会」

児童、保護者、地元の防災指導員などが参加した学習会で、応急処置法、担架作りなどを親子で体験。家族で防災意識を高め合う。

〈中学校の部〉

和歌山県：紀の川市立荒川中学校

「校内放送で防災情報番組」

学校OBの地域ボランティアを招き、インタビュー形式で地域の防災情報を伝える番組を自主制作。給食の時間に放送した。

〈高校の部〉

愛知県：県立日進高校

「巨大カルタや英単語本で防災伝える」

防災の知識が身に付くオリジナルのカルタを使い、保育園や小学校で出前授業。防災関連用語を集めた英単語本も作った。

滋賀県：県立彦根工業高校都市工学科

「ものづくりで地域に貢献」

工業高校の技術力を生かし、災害時にふたを外してかまどに活用する「かまどベンチ」を制作、小学校や公園などに設置している。

〈大学の部〉

宮城県：東北福祉大学生ボランティアサークル「Withボランティア」

「防災キャンプで子どもに減災伝える」

夏に子ども防災キャンプを企画。サバイバルウォークラリーや人形劇上演を通じ、地震の怖さや被災時の応急処置を学んでもらう。

◎ だいいじょうぶ賞

〈高校の部〉

大分県：県立佐伯豊南高校生徒会

「高齢者とのつながり築く」

独居の高齢者の家を回り、災害対策について聞き取り調査。一緒に避難経路を確認し、防災をきっかけに人間同士のつながりも。

◎ はばタン賞

〈小学校の部〉

兵庫県：芦屋市立精道小学校

「6年生から5年生へ、震災語り継ぐ」

阪神・淡路大震災で児童8人が犠牲になり、毎年、追悼式を開催する。また、6年生が震災当時を調べ、5年生に語り継ぐ学習も。

〈中学校の部〉

宮城県：丸森町立丸森東中学校

「防災訓練で地域と生徒が連携」

岩手宮城内陸地震では震度4を記録した地域。山あいの小規模な学校で、学校を支える住民組織と生徒らが協力した防災訓練をした。

〈大学の部〉

兵庫県：震災犠牲者聞き語り調査会

「後世に残す震災の記憶、350人超」

阪神・淡路大震災で亡くなった人の被災状況などを記録、後世に残す活動を続ける。これまでに作成した記録は350人以上。

◎ 特別発表

兵庫県：県立佐用高校

「豪雨災害から5カ月、佐用からの報告」

夏の豪雨で大きな被害のあった佐用町。地元高校生が、町の復興を願って取り組んだ活動を紹介し、現在の町の様子を伝える。

兵庫県：県立舞子高校

「佐用、中国・四川へ。笑顔取り戻す交流」

中国・四川大地震の被災地や豪雨災害直後の佐用町に入り、現地の子どもたちを訪問。子どもたちに笑顔を届けたい交流を報告する。



はばタン賞

「はばタン賞」は、兵庫県の震災復興のマスコットである「はばタン」にちなんだ賞。被災地にエールを送るため、被災地での経験や教訓から生まれた活動を対象にしています。

だいいじょうぶ賞

「だいいじょうぶ賞」は、安心・安全なまちづくりを目指す「だいいじょうぶ」キャンペーン実行委員会（会長、国松孝次・元警察庁長官）にちなんだ賞。防犯活動にも応用できる取り組みを対象に、「希望賞」を衣替えして新設しました。

日時 平成22年 1月10日(日) 13:00~16:00

会場 兵庫県公館 (神戸市中央区下山手通4-4-1)

- 主催 兵庫県、毎日新聞社、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
- 後援 内閣府、総務省消防庁、文部科学省、国土交通省、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、ひょうご安全の日推進県民会議

